

北海道洞爺湖サミット対策事業

16万円

(担当：企画課経営企画係)

町では、今年7月に開催されるG8先進国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）に向けたさまざまな対策を実施します。具体的には報道関係者などの宿泊対策やニセコ町のPRのほか、町民のみなさんや滞在客の安全確保などを進めます。

主な経費

旅費	2万円
開催告知用垂れ幕	9万円
負担金	5万円



昨年度開催したサミット対策会議（上）



ふるさとづくり寄付金の管理 0万円

(担当：企画課経営企画係)

町では平成16年度から「ふるさとづくり寄付金条例」を制定し、町内だけでなく、町外の人からも幅広く寄付を募っています。これまで（平成20年3月末現在）全国から321口、1,603,000円の寄付が集まりました。

昨年度は、まちづくり委員会で、この寄附金の利用方法について検討し、有島武郎農場解放記念文掛軸保存のためのレプリカ作成に充てられました。

この寄附金は、町内外を問わず、ふるさとに寄せるみなさんの想いを受け入れ、次世代につながるさまざまな事業に活用しようとするものです。

【この事業には経費がかかりません】

地域づくりインターン事業 0万円

(担当：企画課経営企画係)

地域づくりインターン事業は、大学生をインターン（研修）生として2週間、役場で受け入れる取り組みです。学生たちにはニセコのまちづくりに触れ、町民のみなさんと交流を深めながら、学生ならではの視点でまちづくりの方向性を提案してもらいます。町では、過去8年間学生を受け入れてきました。今年は5人程度の学生を受け入れ、まちの活性化につなげていきます。

【この事業には、経費がかかりません】

V 自治・まちづくり

4 広域連携、国際交流

広域行政（広域連合）事務

1,818万円

(担当：企画課経営企画係)

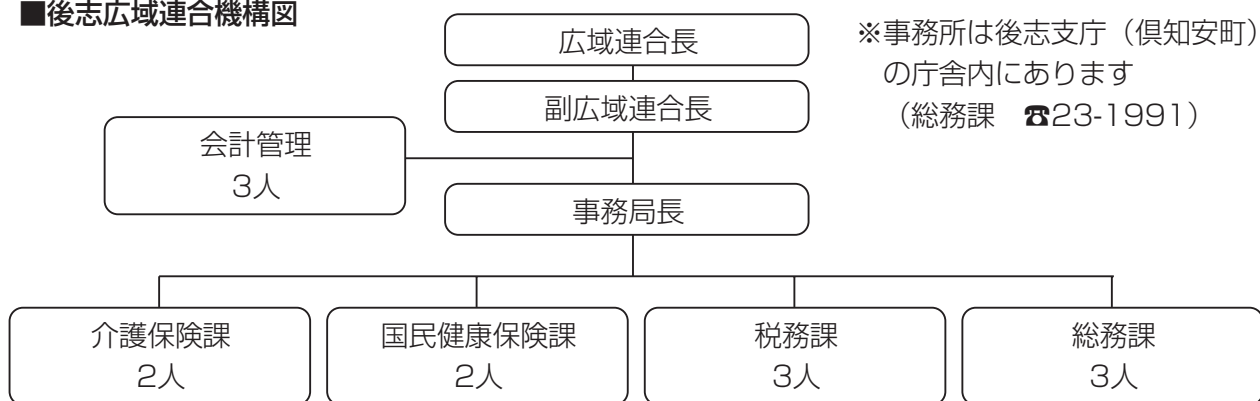
〔広域行政について〕

昨年4月から後志地区16町村（小樽・余市・岩内・寿都の4市町を除く）では「後志広域連合」を設立し、同年6月からは、加入町村の税の滞納整理事務を開始しました。

平成21年4月（来年度）からはこれまでの税の滞納整理事務のほか、新たに国民健康保険と介護保険の事務の一部を担う予定です。このため、今年度は、これらの事務を行う準備として電算システムを構築します。

なお、職員配置や経費負担は下記のとおりです。

■後志広域連合機構図



※事務所は後志支庁（倶知安町）の庁舎内にあります
(総務課 ☎23-1991)

■負担金予定額

(平成20年度)

単位：万円

	共通経費	税の徴収事務	国民健康保険事務	介護保険事務	合計
連合全体	4,153	1,934	16,774	3,688	26,549
ニセコ町	296	77	1,198	247	1,818

(平成19年度)

単位：万円

	共通経費	税の徴収事務	国民健康保険事務	介護保険事務	合計
連合全体	3,531	1,942	1,218	1,218	7,909
ニセコ町	251	88	86	79	504

ニセコ町では、平成15年から合併協議会（蘭越町・ニセコ町・真狩村・喜茂別町・倶知安町で構成）に参加し、合併の是非を検討してきました。その結果、平成17年3月までを期限とする合併特例法（旧法）の中での合併はせず当面は自立の道を歩むこととしました。

現在、国では平成22年3月までを期限とする「合併新法」により合併を推進しています。この法律が終わる平成22年4月以降に、合併せずに残る人口規模の小さな町村については、これまで持っていた権限を縮小する制度などの検討が本年度から始まっています。

市町村合併については、今後も国や道の動向が示されるなど新たな情報が入ります。町では、必要に応じて合併に関する情報提供や町民のみなさんとの議論の場を設けます。

主な経費

広域連合ニセコ町負担金 1,818万円